

The English Edu. Newsletter VOL.2

滋賀県教育委員会事務局高校教育課・幼小中教育課 令和5年7月


令和5年度、4年ぶりに中学校英語の全国学力・学習状況調査が実施されました。調査問題は、学習指導要領において示された、外国語の指導を通して育成する資質・能力を踏まえて、作成されています。以下は、「話すこと」と「書くこと」の問題です。どのような力の育成が求められているか考えてみましょう。

「話すこと」の問題

大問2 英語の授業で、ニュージーランドから来た留学生が環境問題についてのプレゼンテーションをしています。その発表やスライドの内容をもとにして、あなた自身の考えとその理由を英語で伝えましょう。1分間話す内容を考えたあと、30秒で話してください。メモを取ってもかまいません。それでは、プレゼンテーションを聞きましょう。


スクリプト

Do you buy plastic bags at the store? Or, do you use eco bags?

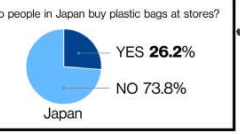


plastic bags or eco bags (reusable bags)


Look at this picture. There are many plastic bags in the sea. It is a serious problem today.



Now, look at this. I was really surprised to see this because over 25% of people in Japan buy plastic bags at stores. In New Zealand, stores do not sell plastic bags and we take eco bags.



Some people may say plastic bags are becoming more eco-friendly, but I recommend stores in Japan should stop selling plastic bags. What do you think?



それでは、話す内容を考えてみましょう。(考える時間1分)

それでは、30秒で話してください。(解答時間30秒)

「書くこと」の問題

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形(I'mやdon'tなど)は1語と数え、符号(、や?など)は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

Blank writing area with horizontal lines and a dashed midline. The number 25 is written at the bottom right of the area.

【問題の趣旨】

社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる。

○説明を聞いて、考えとその理由を話すことができるようになるために、

- ・社会的な話題に関して聞いて分かった情報を活用し、自分なりの意見や考えを他者と交流する学習活動を行う。
- ・既習の表現などを駆使し、自分自身の考えや気持ちを理由などとともに伝える学習活動を行う。

(参考資料) 令和5年度全国学力・学習状況調査解説資料

【問題の趣旨】

日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる

○まとまりのある文章を書くことができるようになるために、

- ・「導入-本論-結論」や「主張-根拠や具体-主題の言い換えや要約」など、文章構成の特徴を意識して全体として一貫性のある文章を書く学習活動を行う。
- ・よりよく読み手に伝わるよう意識しながら、自分の言いたいことに最もふさわしい表現形式を普段から繰り返し活用する学習活動を行う。

(参考資料) 令和5年度全国学力・学習状況調査解説資料

このような力を育成するには、小学校で学んだ経験を生かし中学校においても継続して言語活動に取り組むことが必要です。そこで、英語発信力育成事業を実施し、小中学校の連携について研究を進めます。

英語発信力育成事業

目的

- 小・中・高等学校を通じて生徒に付けたい力を明確にした系統的な授業デザインを研究するために「英語発信力育成事業」を実施します。
- 中学校区（小・中学校）で研究推進委員会を設置し、グループによる校種間連携を通して、児童生徒の英語による発信力向上に向けた授業改善と教員の指導力向上に係る研究を行います。

第1回推進委員会

令和5年5月29日に長浜小学校にて実施しました。

令和5年度研究推進委員
長浜市立西中学校区

| | |
|----------|----------|
| 長浜小学校 | 西中学校 |
| 〇〇 〇〇 教諭 | 〇〇 〇〇 教諭 |
| 〇〇 〇〇 教諭 | 〇〇 〇〇 教諭 |



円滑な接続方法、小中の授業における課題、それらの解決に向けて、熱心な協議が行われました。

【推進委員から】

- (小) 中学校入学までに必要な力はどのようなものかを知っておきたい。
- (中) 小学校で多くの表現にふれているため、中学校入学時には多くの単語を知っていることに驚いた。
- (中) 小学校で慣れ親しみ、話すことができる英語表現を中間テストの「書くこと」の記述問題として出題すると、正答率が低かった。「話すこと」でできた表現も簡単には書けないことがわかった。
- (中) 生徒にとって、聞いて意味が分かる英単語や表現でも、「読むこと」は難しいようだ。
- (小・中) 全体指導で、指導者用デジタル教科書を活用しているが、学習者用デジタル教科書の効果的な方法はどのようなものがあるだろうか。

【異徹教授からの指導助言】

- ・小学校では「音声と意味」がつながっている児童は多いが、「音声と文字」「文字と意味」のつながりは希薄である場合が多い。小学校の段階で単語を読む程度の活動を入れることで、読むことへのハードルを下げるができる。小学校では、「話す」「聞く」に加えて「ちょっとだけ読む活動」を取り入れることも大切である。
- ・新滋賀県モデルCAN-DOリストは、円滑な連携を図るための指針としてよくできているものなので、普段から活用してほしい。
- ・中学校では文法を中心とした活動が増えてしまう。文法は大事ではあるが、それだけに偏ることのないようにするとよい。そのため、小中の円滑な接続を考えるのは重要なことある。

協議を踏まえて、以下の研究テーマに決定しました。

音声と文字を効果的に指導する学びの接続
～自らの言葉で豊かに発信する力の育成をめざして～

今後の日程

研究テーマを軸にした取組を実践し、公開授業と研究会を実施します。

- | | | | | |
|--------------------------|--------------|--------|----|----|
| 第2回：8月23日（水）〈研究会〉 | 場所：長浜市立西中学校 | | | |
| 第3回：10月2日（月）〈公開授業および研究会〉 | 場所：長浜市立長浜小学校 | 授業者：〇〇 | 〇〇 | 教諭 |
| 第4回：11月6日（月）〈公開授業および研究会〉 | 場所：長浜市立西中学校 | 授業者：〇〇 | 〇〇 | 教諭 |

第4回については、県内の外国語担当教員と研究推進委員（高等学校）を対象に公開授業および研究会を実施します。詳細は後日お知らせします。ぜひ御参加ください。

